

協働って?まちづくりって?だから・・・



蒲郡市役所企画広報課

小田芳弘

「まちづくり」って何だろう？

まちづくりとは、住みよいまちにするために「そのまちに必要とされるものや環境をつくり育てること」であり、そのためにいろいろな公共サービスが行われています。まちづくりを考えると、鉄道高架や区画整理などのハード事業をイメージされると思いますが、防犯対策も文化継承も料理講座も地域清掃も…、ソフト事業によるまちづくりもあります。公共サービスは数の多さも大事ですが、それよりも地域の特性や住民ニーズに合う内容のものにすることが重要です。



住民がまちを作っていた！？

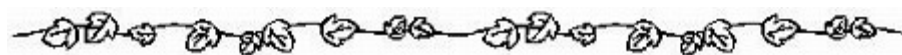
まち（地域）には本来、そのまちの課題をそこに住む方々が自分たちで考え、解決していくような機能があって、お互いが快適に暮らすための暗黙のルールや仕組みをつくって、ごく普通に機能していました。しかし、地域のコミュニティが薄くなり、このルールや仕組みは機能しなくなってきました。その後、阪神・淡路大震災をきっかけに市民ボランティア、地域コミュニティが注目され、住民自治の重要性が再認識されました。また、共通の目的をもって活動する新たなコミュニティ「市民活動団体」も注目されるようになってきました。



まちづくりは協働で

それぞれの活動を市民や市民活動団体または市役所のどちらか一方が行うことは、非効率な場合もあります。それならば、お互いのできることや得意分野について、それぞれが対等の立場で責任を持って役割を分担し、カバー（補完）し合い、協力することによってより良い活動にしていけばいいのです。これを「協働」といいます。

市民団体も市役所も相手のいいところどりして、自分たちの活動を充実していきましょう。その活動の充実が、蒲郡のまちづくりにつながっていきます。



そこで、まちセン！

さて、お互いがいいところどりするには、どうしたらいいのか？

まずは、お互いのできることや得意分野、それぞれの事業や活動を知ることが大事です。何らかの活動をする時には、①人、②もの、③金が必要とされています。

だから、皆さんの活動や情報を結ぶことに合わせて、人材（財）や施設、助成金などの情報を集め、皆さんの活動を応援する機関が必要となります。

そこで、登場するのが「がまごおり市民まちづくりセンター」です。

まだまだ、発展途上のセンターですが、皆さんと一緒にスキルアップして、皆さんの活動や住みよいまちづくりの応援をしていきたいと思っています。情報集めでも、相談でも、井戸端会議でも、お茶しにいくでも結構です。お気軽に“まちセン”へお立ち寄りください。